

学び直しプログラム提供事業【仙台市】

総事業費	1,645 千円
交付金額	1,233 千円

地域の実情と課題

- ・女性は、様々な年代で貧困などの生活上の困難に陥りやすい状況にある。
- ・生理用品など生活するうえで必須な物品の入手が難しい女性の存在も報道などで指摘されている。
- ・敷居の高さを感じるなどの理由で相談窓口につなげられない女性も一定数存在すると思われる。

事業の特徴

いわゆる5教科以外にも、参加者のキャリア目標に応じ、パソコンスキルやコミュニケーション力に関する学習提供を行った。

事業の効果

それぞれのキャリア目標に応じたプログラムの提供が出来た。

目的・目標

様々な困難により自立を目指す活動に影響を受けている女性の自己肯定感の回復と自己決定力の涵養を図る。

【数値目標】自己肯定感が向上した人の割合
70%以上

【達成状況】85%

連携団体

- 「若年女性支援情報交換会」※以下構成団体
- ① 公益財団法人せんだい男女共同参画財団
 - ② 仙台市
 - ③ ①の関係団体

今後の課題

外部の相談支援機関へ、より丁寧な情報提供や協力依頼に努める必要がある。

●学び直しプログラム提供事業

1 開催概要

何らかの学習支援が自己肯定感の回復、キャリア選択及び就業継続に有効であるとみられる相談者に対して、個々の状況に合わせたキャリアカウンセリングと個別学習支援を並行して実施する学び直しプログラムを提供した。

一人一人の希望や目標に合わせた学習科目等を設定し、個別計画を策定。月2回程度の個別指導日を設定し、伴走型で取り組みをサポートした。

性別役割分担意識や社会の構造的な問題等により就業や日常生活において影響を受けている女性に向け、自己肯定感を回復させ生き方を自分で選択できる力を養い、それぞれが思い描くキャリア目標を後押しした。

対象者:10代で十分な学びの経験を得られないなど、様々な困難により自立を目指す活動に影響を受けている女性

実施人数:12人

2 事業効果及び効果検証

- ・看護専門学校の合格や就職に向けたスキルアップなど、それぞれのキャリア目標に応じたプログラムの提供ができた。
- ・いわゆる5教科以外にも、参加者のキャリア目標に応じ、パソコンスキルやコミュニケーション力に関する学習提供を行った。
- ・概ね、学習意欲の向上が自己肯定感の高揚や就業意欲の向上につながり、キャリアを考えるきっかけとなっている様子がうかがえた。



キャリアカウンセリング
を行う相談室の様子